

# 事業評価票

<b>363</b>	<b>公立小中学校事務共同実施支援事業</b> (教育庁総務部／一般会計)	事業開始	平成 26 年度
		事業終期	平成 33 年度

## 【局評価】

<b>1</b>	<b>どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか</b>
<p>○ 公立小中学校の事務室は一人職場であることが多く、相互チェックによる事務の正確性・効率性の確保やOJT等に基づく人材育成を行うことが難しい状況にある。</p> <p>○ 副校長等が事務的業務に追われ、教員の業務多忙が慢性化している実態がある。</p> <p>○ これらを解決するため、事務的業務の校内分掌を抜本的に見直し、複数校の事務を集中処理する「事務の共同化」を推進し、導入を進める区市町村に対する補助を平成26年度から実施している。</p>	
<b>根拠法令等</b>	

<b>2</b>	<b>どのように取り組み、どのような成果があったか</b>
<p>○ 平成28年度までに4区市37校で事務の共同実施が導入されている。</p> <p>○ 導入初年度校に対するアンケート調査では、事務の正確性の向上、副校長の業務負担軽減ともに5割以上の職員から、効果が見られるとの回答を得た。</p>	

<b>3</b>	<b>どのような課題や問題点があったか</b>
<p>○ 区市町村ごとに体制や校務を処理するシステムに違いがあることから、他の区市町村を参考にすることが難しく、ノウハウ不足により事務の共同化が進んでいない。</p> <p>○ 区市町村にとって事務の共同化を実施するための初期費用の財政的負担が大きく、事務の共同化が進んでいない。</p>	

<b>4</b>	<b>局として、事業をどうしていきたいか</b>				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px;">拡大・充実</td> <td style="padding: 2px;">見直し・再構築</td> <td style="padding: 2px;">移管・終了</td> <td style="padding: 2px;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
<p>○ 区市町村ごとの現状や課題を踏まえ、支援メニューの新規導入・拡充を行い、事務の共同化をこれまで以上に積極的に推進することで、教育環境の一層の充実を図る。</p> <p>＜新規・拡充メニュー＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノウハウ不足解消のためにコンサルティングを活用した区市町村への費用補助の新設</li> <li>・事務の共同化を行うために必要な初期費用に対する補助の拡充</li> </ul>					
<b>歳入</b>	<b>歳出</b>				
27年度決算額	27年度決算額				
33,709 千円	78,219 千円				
28年度予算額	28年度予算額				
59,763 千円	167,564 千円				
29年度見積額	29年度見積額				
76,140 千円	267,818 千円				

## 【財務局評価】

<b>5</b>	<b>財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか</b>
<p>○ 事務の正確性の向上や副校長の業務負担軽減のためには、事務の共同化を一層推進していくことが重要である。</p> <p>○ ノウハウ不足や財政的負担といった課題を解決し、導入地区を拡大していくことが必要である。</p>	

<b>6</b>	<b>29年度予算で、どのように対応したか</b>				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px;">拡大・充実</td> <td style="padding: 2px;">見直し・再構築</td> <td style="padding: 2px;">移管・終了</td> <td style="padding: 2px;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
<p>○ 経費を一部精査した上で、所要額を計上する。</p>					
<b>歳入</b>	<b>29年度予算額</b>	— 千円			
<b>歳出</b>	<b>29年度予算額</b>	262,818 千円			